～交通局の経営状況～

☆経営戦略の進捗状況☆

交通局では、今後も市民の皆様からの信頼と期待に応え、人と環境にやさしい市バスを維持・発展できるよう、平成28年度から10年間の計画である『伊丹市交通事業経営戦略』に取り組んでいます。当計画は、投資・財政計画と行動計画（アクションプラン）によって構成されており、平成28年度の結果と取組状況をホームページで公表しています。

1. 収益的収支（単位：千円）

区分		年度	28年度 計画	28年度 決算	増減額
経常収支	経常収益	営業収益	2,090,093	2,056,648	△33,445
		営業外収益	274,239	277,445	3,206
		収入計	2,364,332	2,334,093	△30,239
	経常費用	営業費用	2,342,838	2,297,510	△45,328
		営業外費用	8,613	2,409	△6,204
		支出計	2,351,451	2,299,919	△51,532
特別損失			6,145	6,098	△47
単年度純利益			6,736	28,076	21,340
累積欠損金			△515,931	△426,702	89,229
年度末資金過不足額			687,086	761,589	74,503

2. 資本的収支（単位：千円）

区分	年度	28年度 計画	28年度 決算	増減額
資本的収入		205,976	155,660	△50,316
資本的支出		284,992	232,088	△52,904
収支不足額		△79,016	△76,428	2,588

詳しくは交通局ホームページをご覧ください。

☆平成28年度市バス巡回モニター調査結果まとまる☆

交通局では、日頃から通勤・通学や買い物等で市バスをご利用いただいているお客様からご意見やご提案をいただき、事業運営に活かしていくことを目的として、「市バスモニター制度」を設けています。平成28年度は、10名の方に「市バス巡回モニター」として乗車時の接客マナー等を確認していただき、集計結果は次のとおりとなりました。

平成28年度調査結果

	出来ている	普通	出来ていない
乗車時挨拶	305件	87件	88件
マイク活用	237件	96件	147件
安全運転	346件	100件	34件

※乗車時挨拶：乗車時に挨拶（会釈のみ、会釈に合わせて口頭）があったか。
※マイク活用：マイクを活用した丁寧なアナウンスを行っていたか。
※安全運転：乗務員が車内の動向等を確認した上での安全運転が行われたか。

☆平成28年度決算の概要☆

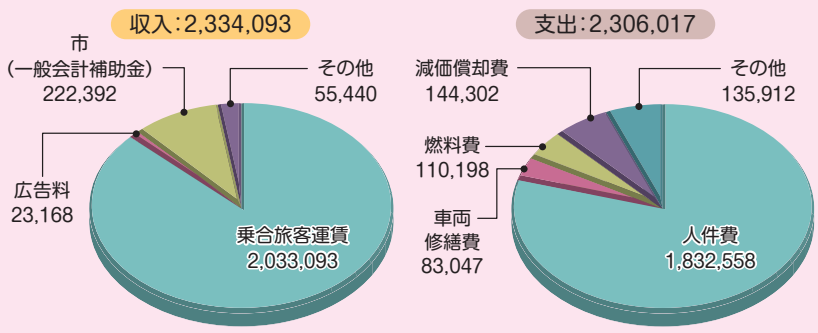
市バス事業における収入の大半は、ご乗車いただくお客様にお支払いいただく運賃で、平成28年度は約1，437万人のお客様にご利用いただき、決算額は約20億3千3百万円となりました。
公営企業は独立採算制が原則ですが、不採算路線の維持や福祉パス制度など、市の施策と密接に連携しながら事業運営を行っていることから、皆様にお支払いいただく運賃等の収入だけではすべての経費を賄うことは厳しいのが現状です。

平成28年度には、市が負担すべき経費として高齢者特別乗車証等の発行負担金5億9千7百万円、不採算路線に対する補助金1億4千1百万円をはじめ、総額約8億2千万円を一般会計から交通事業会計に繰り入れました。

一方、伊丹市交通事業経営戦略に基づき、人件費の適正化を図ったほか、「JR小井内鴻池東線」の路線延長や「塚口池尻三師団線」の新設等により、利便性の向上と収益の確保を図るなど、企業としての経営努力もいたしました。

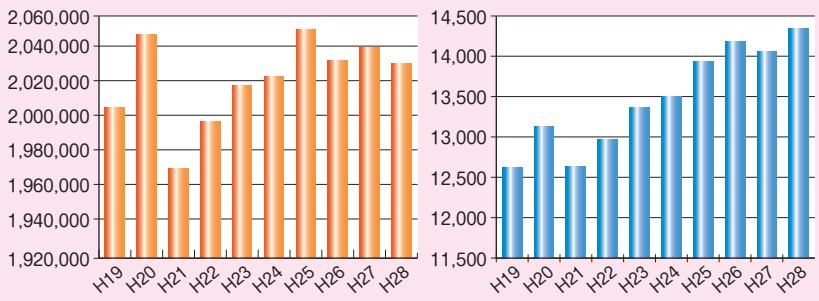
それらの結果、総収益から総費用を差引した単年度の純損益は、2千807万6千円の黒字となりました。

平成28年度　収益的収支状況　消費税抜（単位：千円）



注）高齢者特別乗車証に対する市からの負担金は、乗合旅客運賃に含む

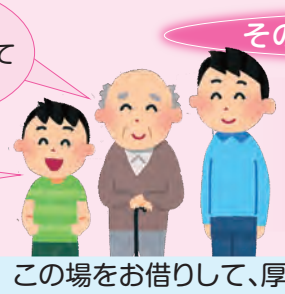
乗合旅客運賃と乗車人員の推移



その他、乗車時のご感想・ご意見（一部をご紹介）

降りる時も挨拶をしてくれて嬉しかった

乗客が完全に着席してから発車していた



平成29年度も引き続き「市バス巡回モニター」を実施し、一人でも多くの皆様からご感想やご意見をいただき、お客様が「安全・安心・快適」にご利用いただけるよう、安全への取り組み、サービス向上へ努めています。

遅れてきてもアナウンスがなかった

スピードやブレーキが強かった

交通局からの～お礼～　この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

- 伊丹補聴器センター（大塩誠司様）より、バス停留所用ベンチを2台寄付していただきました。「伊丹病院住友前」のバス停に2台とも設置しました。
- 日頃ご利用のお客様（匿名）より、バス車内用置き傘の費用として寄付金をいただきました。